

## ハイエクの霊言 (2013年12月11日)

担当:石田昭 2015年7月11日

- 1 日本の特質は「お上主義」。「民を縛るもの」が法律と考えている。だから自由を守るために法があるというハイエクの理論は日本人には分からないだろう。江戸時代の転生は不明
- 2 戦時下は別だが、平時には自由の下で、創意工夫して新しい道を開拓しないと全体的底上げはできない。ケインズ型の経済学は「お上中心、一部の偉い人が決めるもの」平時には失敗多い
- 3 日銀が頑張っって異次元緩和を行ったが財務省の頭が古くて、安倍ノミクスは沈んでいく。
- 4 マスコミは経済が分からず、「賢い人がやるんだから、正しい」と思って反論できない。地震に関して同じ。マスコミは(リバティーも)東大地震研の賢い人たちは間違いないと思っている。
- 5 中国指導者は経済が分かっていないから、高速鉄道の転覆事故的な経済転覆がまもなく起きる。習近平は武力を背景に日本企業を誘っているが、矛盾している。経済が分かっていない。
- 6 隷属とは、「国家への隷属」だけでなく「マスコミへの隷属」もある。学者文化人等は書かせてもらう媒体がないと意見発表ができない。よってマスコミに貢献しようと隷属する。
- 7 ハイエク主義そのものは「右翼」とも「左翼」ともいえないところがある。器としては何でも入る。渡辺昇一氏(右翼)もハイエク本翻訳の西山千秋(左翼)もハイエクから論を引いている。
- 8 キリスト教など世界宗教が古くなりすぎて、そのまま適用できないので、科学、政治、法律などを切りはずしてきた流れがある。それがハイエクは無神論的に見える理由、時代背景を知ってほしい。前前世(?)時代のソクラテスは知識人用、指導者のための宗教を説いた。
- 9 時代が進むと教育を通して人間の理解力が進み、(旧宗教では解けない)新しい問題に対処する手法が見つかる。ある意味で神さまに近づいていくのだから、人間が勉強し研究した成果も認めてくださいと言う追認方の宗教があってもいい、という神との交渉です。
- 10 ソクラテス・プラトンの時代の哲学は宗教と代替できるようなものだった。自然科学者には無神論者が多い。ハイエク的なものが、神産巢日神、月読命など日本神道の中にも見られる。
- 11 中国の海洋戦略などの勢いに対して、内部に自由の哲学を注入できれば解体できるが、外側からは無理、勝てない。霊人家康公「守りを固めて、中国の内部崩壊を待て」「防人国債」
- 12 「幸福の科学は、ハイエクを“盾にしながら、実は天皇の廃位を狙い、終身大統領を宣言して国を支配してやろうと狙っている”と疑っている人もいる。自由の哲学が流れているが、警戒される部分もある。立木元党首は右翼の反発を怖がっていたが、天皇制や、大統領制に関して有権者を説得する言葉が必要である。「天皇を元首に」は天皇を大切にしない思想ではない。
- 13 自由を守るためには強さも要る、その強さは「正しいか、正しくないか」つまり正義である。「今生きているのは日本人ではない、奴隷だ。潔さ、正しさ、使命感を失って、この世に生きている事だけを望む生物と同じだ」神武天皇 箱根山噴火霊言(江戸時代全肯定 西郷自決の恨みか?)
- 14 「強いリーダーは怖い」とだけ思うのは間違いで、「強いリーダーがいなければ守ってくれない」と言う面もある。国家が滅んでからでは取り返しが付かない、という視点が左翼に無い。
- 15 憲法で規定の無い「マスコミ」「報道権力」に盲点があり、今独裁に近づいている。裁判官も新聞やテレビの記事しか読んでない、勉強してないから、記事で操作できる。マスコミが最高権力を持つために利用できる。今本当の最高権力になりかかっているところが、憲法上何も規定されていない。マスコミ独裁、マスコミへの隷属が進行している。だから「勝て！」
- 16 ハイエクの哲学はナチスに追いまくられていたときの哲学だから、万能ではない。「特別秘密保護法」もないとやられてしまう。ハイエク学者には信じられない話だろう。幹部は「マスコミに勝て、勝てば政治は動く」を理解・実行していない?地震爆発論学会は奮闘中